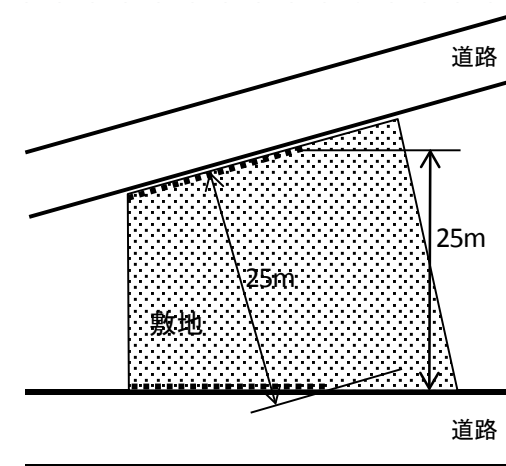


(具体例)  
緩和措置 有り  
..... 道路に接する部分  
(敷地全周の1/4以上)



(具体例)  
緩和措置 有り  
..... 道路に接する部分  
(敷地全周の1/4以上)

3 細則第4号に規定するものの例は、以下のとおり。

(1) 下図の場合は、第1号に準ずるものとする。

下図において  $A$  かつ  $B \geq 5.5 \text{ m}$

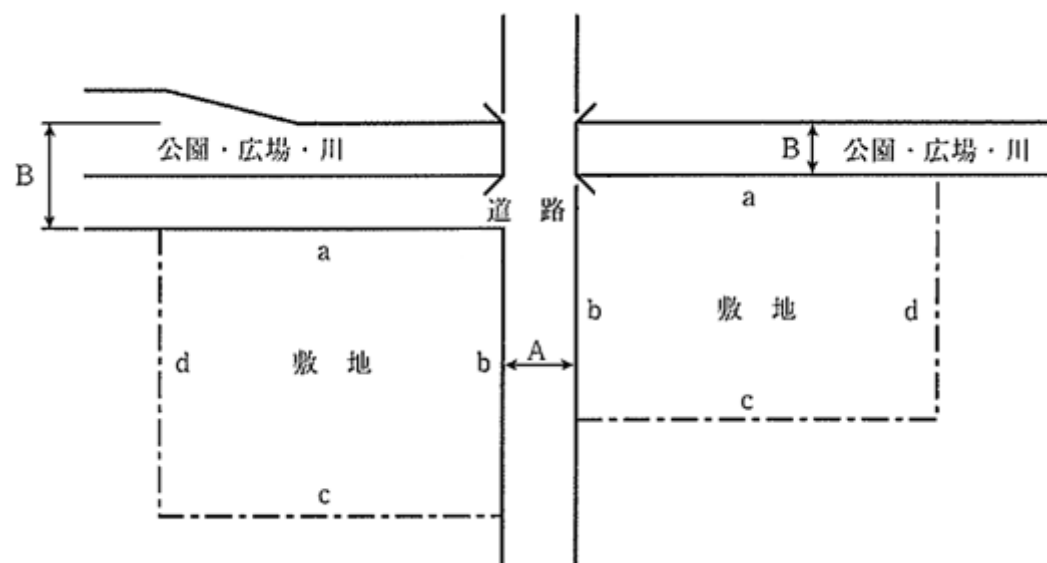
かつ

$A+B \geq 14 \text{ m}$

かつ

$a+b \geq (a+b+c+d) \times 1/4$

ただし、 $B$  は敷地境界の点より、道路におろした垂線の延長線上に含まれた部分で一番狭い部分とする。



3 細則第20条第4号に規定する「前3号に掲げる敷地に準じる敷地として知事が認める敷地」の例は、以下のとおり。

(1) 下図の場合は、細則第20条第1号 (角敷地)に準ずるものとする。

敷地面積が  $200 \text{ m}^2$  超えの場合、下図において  $A$  かつ  $B \geq 5.5 \text{ m}$

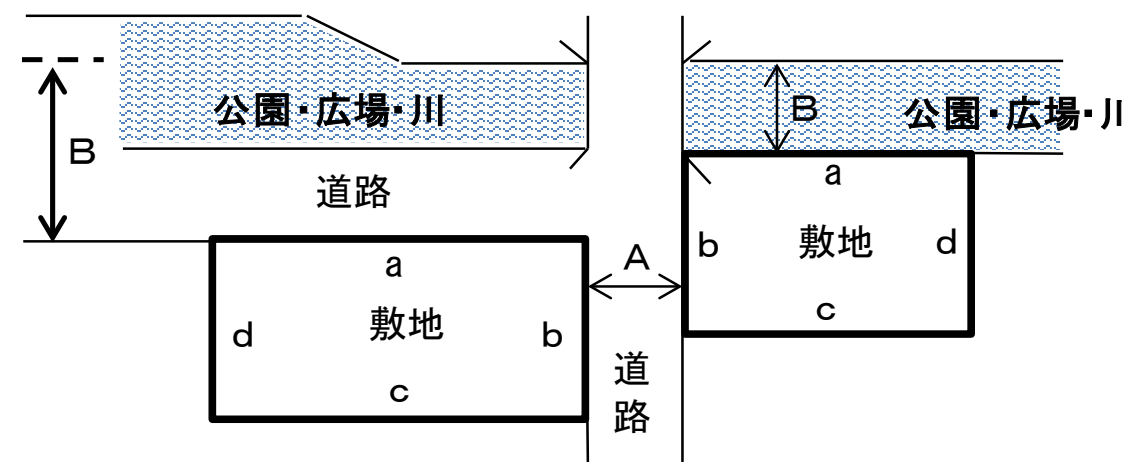
かつ

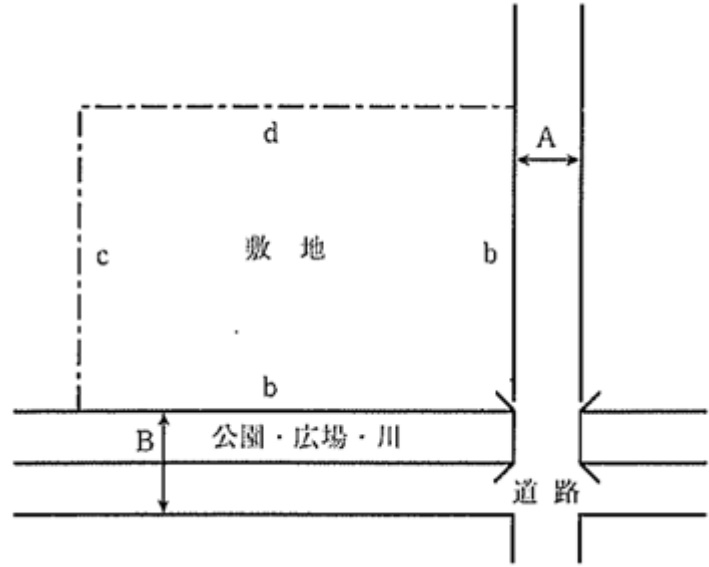
$A+B \geq 14 \text{ m}$

かつ

$a+b \geq (a+b+c+d) / 4$

ただし、 $B$  は敷地境界の点より、道路におろした垂線の延長線上に含まれた部分で一番狭い部分とする。





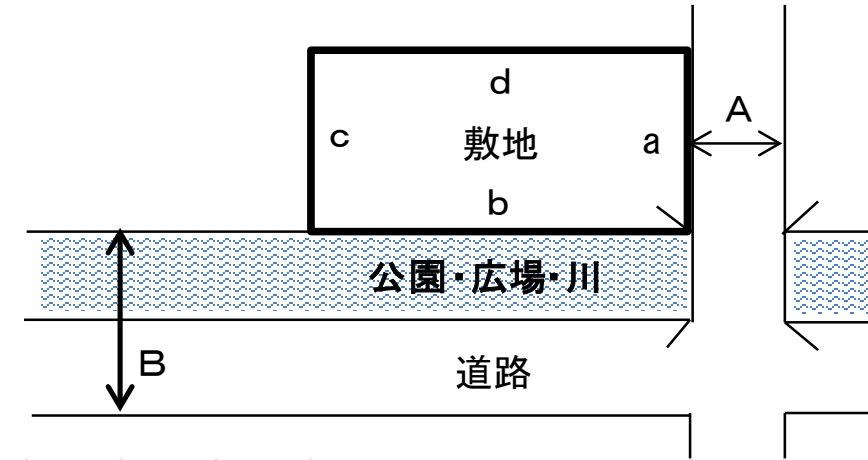
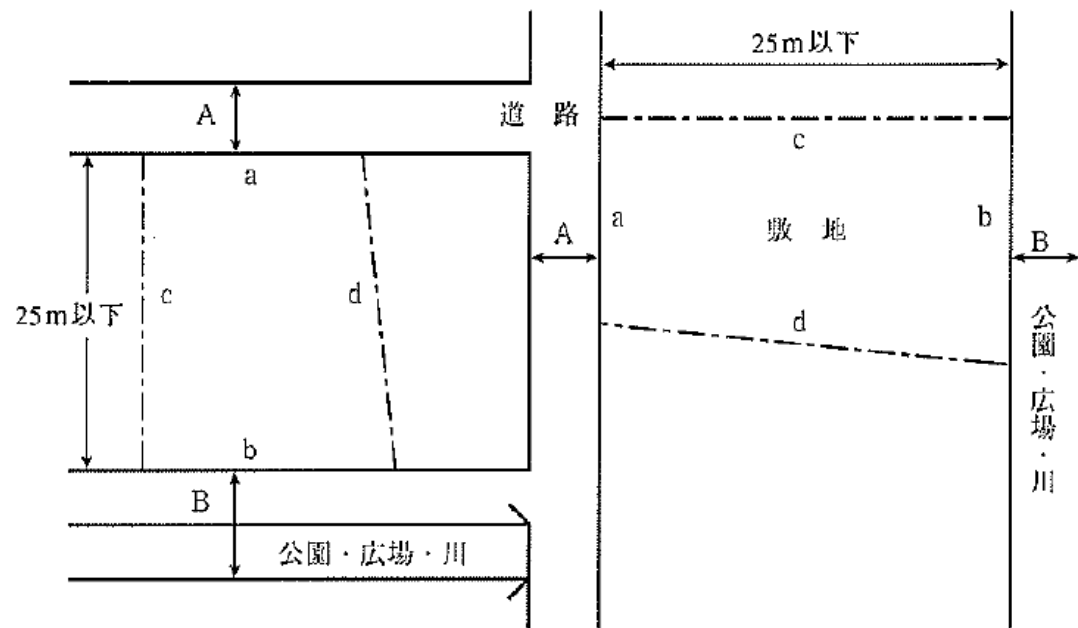
(2) 下図の場合は、第2号に準ずるものとする。

下図において  $A$  かつ  $B \geq 4$  m

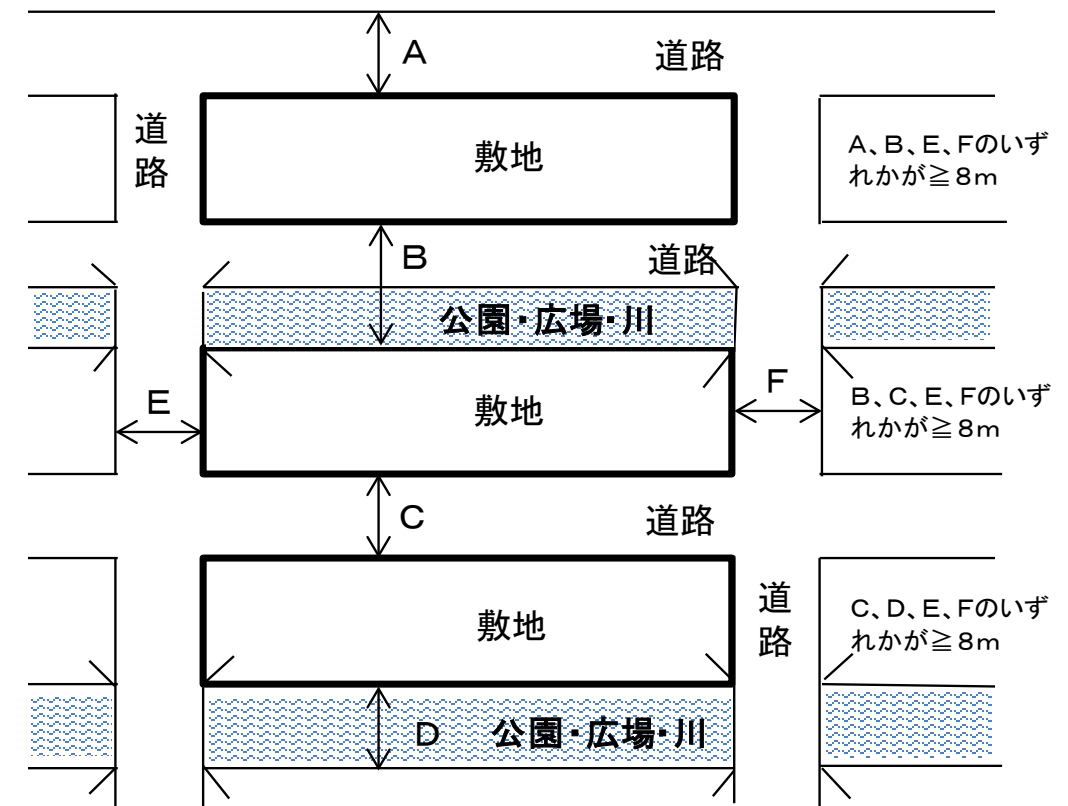
かつ

$$a+b \geq (a+b+c+d) \frac{1}{4}$$

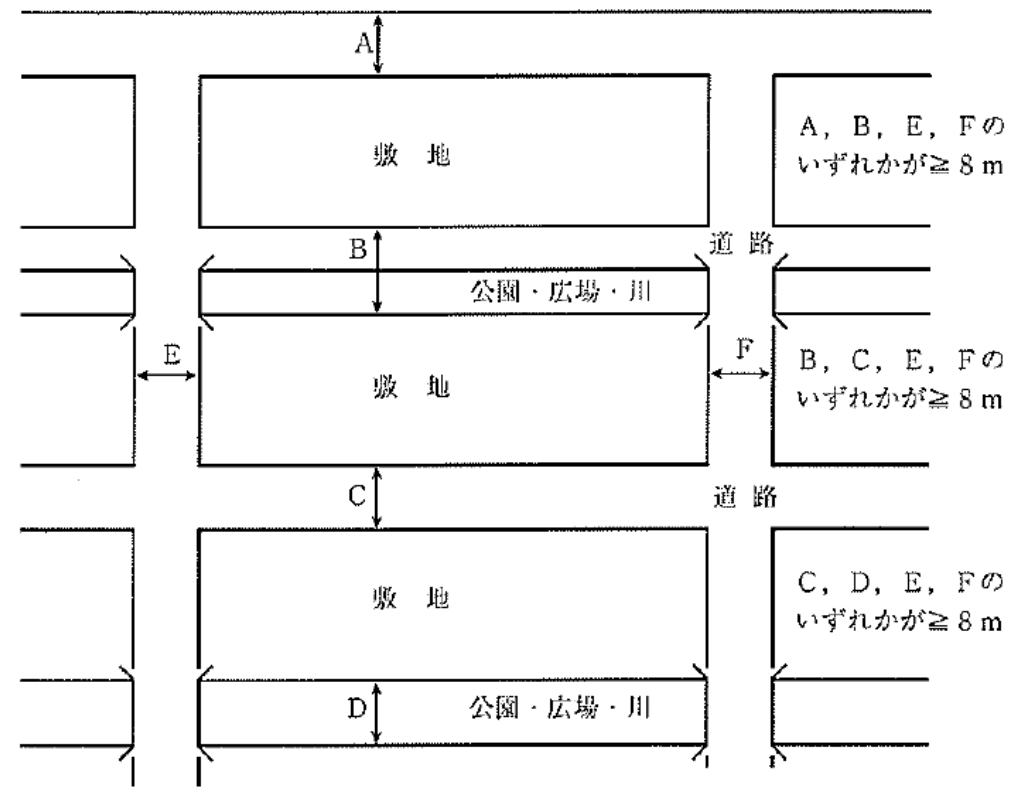
ただし、 $B$  は敷地境界の点より、道路におろした垂線の延長線上に含まれた部分で一番狭い部分とする。



(2) 下図の場合は、細則第20条第2号（隣地境界線の全部が道路に接する敷地）に準ずるものとする。



(3) 下図の場合は、第3号に準ずるものとする。



4 略

5-8 排煙設備の告示適用について [平 12 告示 1436 号]

排煙告示/平 12 建告第 1436 号の第三号の天井の高さのとり方  
 排煙告示/平 12 建告第 1436 号の第四号イの適用の範囲 (住宅等)  
 排煙告示/平 12 建告第 1436 号の第四号ハ及びニの適用の範囲  
 (建築物の防火避難規定の解説 [2012](#)p.81、82、84 による)

ただし、告示第 1436 号第四号ハについては、原則として、前室を除き他の部分の避難経路にならないこと。

「建築物の防火避難規定の解説 [2012](#)」

(3) 下図の場合は、細則第 20 条第 3 号 (道路と道路に挟まれた敷地) に準ずるものとする。

敷地面積が 200 m<sup>2</sup> 超えの場合、下図において A かつ B ≧ 5.5 m

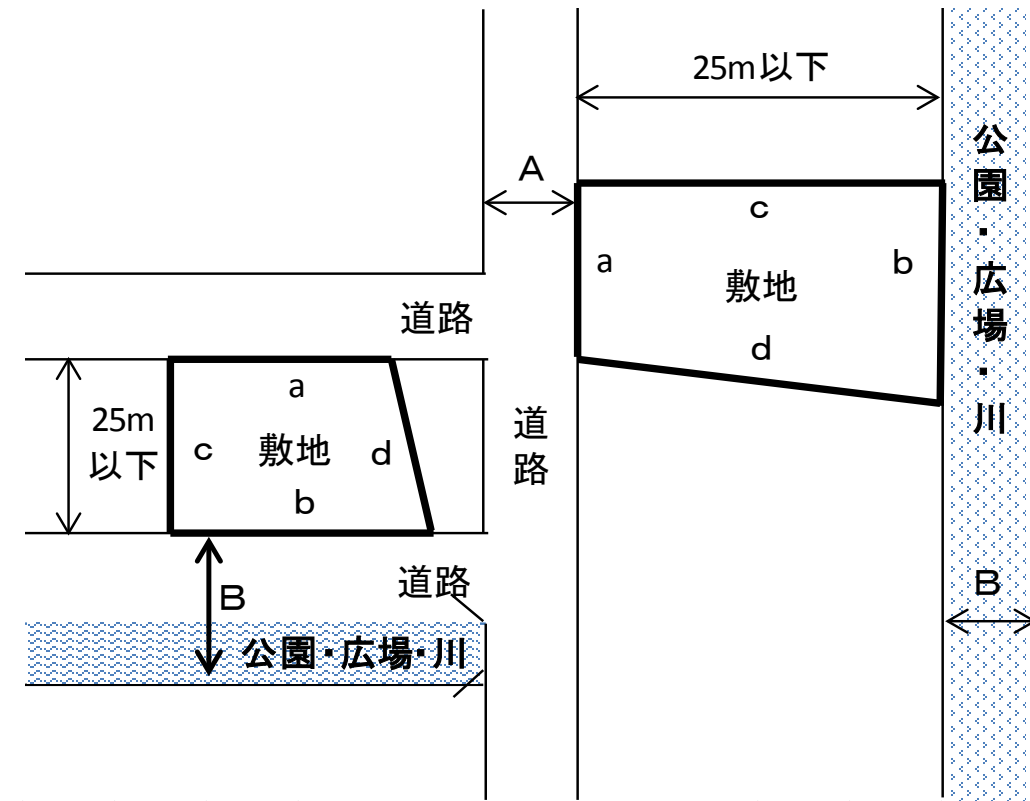
かつ

$$A+B \geq 14m$$

かつ

$$a+b \geq (a+b+c+d) / 4$$

ただし、B は敷地境界の点より、道路におろした垂線の延長線上に含まれた部分で一番狭い部分とする。



4 略

5-8 排煙設備の告示適用について [平 12 告示 1436 号]

排煙告示/平 12 建告第 1436 号の第三号の天井の高さのとり方  
 排煙告示/平 12 建告第 1436 号の第四号イの適用の範囲 (住宅等)  
 排煙告示/平 12 建告第 1436 号の第四号ニ及びホの適用の範囲  
 (建築物の防火避難規定の解説 [2016](#) p.81、82、84 による)

ただし、告示第 1436 号第四号ニについては、原則として、前室を除き他の部分の避難経路にならないこと。

「建築物の防火避難規定の解説 [2016](#)」